

令和7年度 第2回上越警察署協議会議事概要

開催日時	令和7年9月25日(木)午前8時30分から午後4時00分まで		
開催場所	機動隊及び航空隊		
出席者	委員 (定数15人)	佐藤(正)会長 伊藤副会長 沢田委員 河野委員 望月委員 飯田委員 熊木委員 佐藤(洋)委員 石田委員 竹田委員 小林(修)委員 佐藤(良)委員	計12人
	警察	湊署長 細川警務課長 竹内生活安全課長 小池交通課長	計4人

管内の治安情勢

署長等から令和7年7月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

前回答申した重点推進項目の取組状況について、署長から説明があった。

1 特殊詐欺被害防止対策の推進

(1) 安心感を高める街頭活動の強化

- ア 制服警察官やパトロールカーによる「見守り警戒」「見せる活動」を強化
- イ パトロール要望に応じた効果的な警ら活動を推進
- ウ 積極的な職務質問による犯罪抑止・検挙活動
- エ 巡回連絡による特殊詐欺等の犯罪や交通事故の抑止、困り事等の把握

(2) 特殊詐欺被害防止対策の推進

- ア メディアを利用した広報活動
- イ 街頭における広報活動
- ウ 国際電話不取扱いサービスの申込みブースを設置しての広報・推進活動

エ 特殊詐欺被害未然防止表彰

2 悪質・重要犯罪等の検挙と被害者保護対策の徹底

- (1) 人身安全関連事案への迅速かつ的確な対応
- (2) 悪質・重要犯罪等の検挙

3 交通事故防止対策の推進

- (1) 歩行者事故防止対策の推進
- (2) 高齢者事故防止対策の推進

諮問

署長から当面の重点推進事項について、次のとおり諮問があった。

1 効果的な犯罪抑止活動の推進

- (1) 全国地域安全運動・新潟県安全安心まちづくり旬間の実施
- (2) 特殊詐欺被害防止対策の推進

2 悪質・重要犯罪等の検挙と被害者保護対策の徹底

- (1) 人身安全関連事案への迅速かつ的確な対応
- (2) 悪質・重要犯罪等の検挙

3 交通事故防止対策の推進

- (1) 歩行者事故防止対策の推進
- (2) 高齢者事故防止対策の推進

答申

上越警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

速度等取締り指針の策定

交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

意見・要望・質疑等（○は署長等の説明）

- 1 チャイルドシートを使用しなかった場合の違反について教えてもらいたい。
○ 道路交通法では、「運転者は、チャイルドシートを使用しない幼児（6歳未満）を乗車させて自動車を運転してはならない。」と規定されており、9項目の除外規定があります。幼児の安全確保のため、チャイルドシートの着用徹底をお願いします。
- 2 多くのFM局は、生放送の時に、交通安全に関する情報をドライバーに呼び掛ける

コーナーがある。上越地区でも同じような取組を行うよう検討をお願いしたい。

- 県内のいくつかの警察署では、定期的に警察官が地元FM局に番組出演し、交通安全や防犯広報などの情報提供を行っていると聞いております。

地元FM局を活用した呼び掛けは非常に広報効果が高いと考えておりますので、前向きに検討させていただきます。

- 3 6月から7月にかけてグレーチング盗が多く発生し、大きな被害が発生しているが、それだけではなく、歩行者や通学中の子どもたちの安全にも関わることであるので、引き続きパトロールをお願いしたい。

- 上越警察署として専従の捜査体制を組んで鋭意捜査を推進し、犯人を検挙しました。引き続き、地域住民の安全安心の確保に向けた警察活動を推進していきます。

- 4 クマやイノシシの関係で、9月から自治体の判断で「緊急銃猟」が可能となっており、他の自治体では発砲までの流れを確認する訓練が行われたと聞いているが、上越市の動向を教えてください。

- 「緊急銃猟」に関しては、本年3月に上越署と上越市で合同研修会を開催し、危険鳥獣の対応にあたる際の地域住民への避難誘導、警戒活動、交通規制など、これまで以上に上越市と連携して対応することを確認しております。

機動隊及び航空隊の施設等の見学

警察官やその活動に関する理解を深めるため、機動隊及び航空隊において施設見学等を行った。

- 1 機動隊

機動隊の各種訓練を見学するとともに、活動内容などについて説明を受けた。

- 2 航空隊

航空隊の活動内容について説明を受けた後、県警ヘリコプターを見学した。